

かんぜおんじ きよぞうぐん 観世音寺の巨像群

所在地/太宰府市
指定/有形文化財



観世音寺の巨像群

かんぜおんじ てんじてんのう
観世音寺は、天智天皇

が、661年に朝倉で死んでしまったお母さんの^{さいめい}斉明天皇のために、建てることを決めた寺です。完成したのは746年。完成まで長い時間がかかったのは、観世音寺が昔の九州で一番大きな寺だったからです。この寺には今も、菅原道真もその音を聞いた、700年頃に作られた国宝の^{ぼんしょう}梵鐘や、古い仏像がたくさん残っています。

仏像は、九州国立博物館

に貸し出しているもの^{ふく}を含めて、18体のこっています。これらは、古いものは約1100年以上前のもので、新しいものでも約800年前のものです。こんなにたくさん、こんなに古い仏像がある寺は、九州ではここだけです。高さが5mくらいの立った仏像や、高さが2.5mから3m^{すわ}くらいの坐った仏像を中心に、大小さまざまな古い仏像が並んでいる様子は、とても迫力があります。

これらの仏像は、奈良や京都の仏像と同じくらい上手に作られていて、とても美しい姿をしています。観世音寺は九州で一番有名で、奈良や京都の寺に負けないすごい寺です。仏像の保存のために昭和34年（1959）に建てられた、^{ほうぞう}宝蔵で見ることができる観世音寺の巨像群は、観世音寺や、観世音寺がある太宰府のすごさを教えてください。

※梵鐘：時を知らせるための鐘 ^{かね} ※宝蔵：宝物を収める蔵 ^{くら}

【もつとくわしく調べたい】

○九州歴史資料館 小郡市三沢 5208-3 TEL 0942-75-9575

【行ってみたい】

○観世音寺宝蔵 太宰府市観世音寺 5-6-1 TEL 092-922-1811